

令和2年度事業報告

1 概要

令和2年度は、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、あらゆる方面に未曾有の危機を引き起こした1年となり、未だにその終息が見えない状況です。こうした中、薩摩川内市シルバー人材センター（以下「センター」）としても、これまで順調に推移してきた事業に大きく影響を受けました。

内訳として、柱の一つである派遣事業については、これまでの勢いはなくなったものの前年度実績を上回ることができましたが、もう一つの大きな柱である請負・委任事業については前年度実績を下回ったことが影響し、受託件数・就業延人員・契約金額についての目標値を達成できない結果となりました。

唯一会員数については、それぞれ会員の勧誘活動をはじめ、各種の増加対策を積極的に取り組んだことから、目標数を超えました。

安全・適正就業については、安全パトロールや「シルバーだより」による周知など強化に取り組みましたが、傷害事故については件数が昨年度より増加し、また内容的にも重症事故が多く発生するなど残念な結果となったところです。

ボランティア活動については、それぞれの地域で活動することで地域社会への貢献とセンター存在の周知を行いました。

収益が減少した令和2年度のセンター事業運営については、業務の効率化や経費の節減に努めることで、各般に支障が生じないように努めました。

2 目標値に対する実績（派遣事業を含む。）

区 分	会員数	受託件数	就業延人員	契約金額
目標値	576 人	6,103 件	55,480 人	300,947 千円
実 績	595 人	5,921 件	54,304 人	295,725 千円

3 実施内容

(1) 会員組織の充実と活性化

- ① センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の精神を、会員一人ひとりが念頭においた行動を取るよう機会あるごとに周知しました。
- ② 理事会や各委員会の充実のため研修会を開催し、会員相互の連帯感を高めるとともに組織の活性化を推進しました。
- ③ 刈払い作業や剪定作業については、会員の高齢化と減少により就業に支障が生じないよう充足を図るとともに、中心となるリーダーの育成やチームワークの醸成も進めました。
- ④ 新規会員の開拓や即戦力となる会員の技能向上を目指し、各種の講習会を開催しました。
- ⑤ 会員相互交流の場の充実としては、新型コロナの影響で積極的な活動はできない中、グラウンドゴルフ大会を1回開催しました。また、女性会員を中心に新規の活動を検討するなど魅力のあるセンターを目指しました。

- ⑥ 刈払い機の替刃等の斡旋と配分金からの引き落としを行うなど、会員の利便性向上に努めました。

※刈払い機の替え刃 810枚、ヘルメット12個

(2) 会員確保運動の強化

- ① 会員それぞれが新規会員の確保に取り組むとともに、定例の入会説明日以外でも臨時に説明を行うなどして加入しやすい環境に努めました。
- ② 各種講習会や研修会を開催し、受講者への入会勧誘を行いました。
- ③ 専門推進員の配置による公共職業安定所との連携や既存会員による新規会員の勧誘に取り組みました。
- ④ 市広報紙用マガジンラックへの会員募集チラシ等の配置や、読みやすい広報誌の作成に努めました。
- ⑤ 会員募集の新聞折り込みチラシや大型量販店への会員募集チラシの配置、その他郵便局現金封筒での広告に取り組みました。
- ⑥ 「広報せんでがわ」、「シルバーだより」による会員募集記事の掲載やホームページによる入会説明会等の周知、地域FMラジオCMを活用した入会の促進に努めました。

(3) 就業機会の開拓・拡大

- ① 就業現場において「のぼり旗」等の設置や安全ベストの着用による安全啓発活動で、市民へ周知し事業拡大を図りました。
- ② 発注者に対しては、作業終了後に会員の作業状況等について聞き取り調査を行い、誠実かつ信頼されるセンター作りに努めました。
- ③ 「シルバーだより」や市の「広報用マガジンラック」の活用を図り、事業PRに努めました。
- ④ 刃物研ぎ事業の市民への周知や、会員の職務能力の分析及び地域が求める新たなサービスについて調査研究を行いました。
- ⑤ 一般労働者派遣事業は、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」によりコーディネーターを配置し、派遣事業先の開拓と派遣会員の確保を図りました。

(4) 安全・適正就業の推進

- ① シルバーの就業は、「安全はすべてに優先する」という心得を会員全員が認識し、現場確認の徹底はもとより、作業開始前のミーティングの実施など会員の安全就業及び健康保持に努めました。
- ② 安全・適正就業委員会において安全パトロールを実施し、作業現場での看板やのぼり旗の設置及び安全ベストの着用状況を確認するなど、事故防止の認識を高めました。
- ③ 発注者からの苦情や就業中における事故やケガの発生状況を、毎月発行する「シルバーだより」で会員に周知し再発防止に努めました。
- ④ 事故等が多発したことを踏まえ、作業内容の見直しや危険と判断される現場など

は、丁寧な説明をして仕事を受けないことにしました。

- ⑤ 発注者への迷惑行為や会員間の協調性の欠如など不適正就業行為については安全・適正就業委員会で対応策の検討を行うとともに文書で会員に周知するなど、再発防止策に務めました。
- ⑥ 会員同士が気軽に話し合える班内の環境づくりに努めるとともに剪定作業や刈払作業の実技講習会による技術力の向上や安全衛生講習会を開催し、より一層の安全適正就業に努めました。

※安全パトロール実施箇所数 18カ所

(川内：5、東郷：5、樋脇：2、入来：2、祁答院：2、上甕：2)

(5) 地域社会への貢献

公益法人として地域社会への貢献とシルバー事業の普及啓発を兼ねた活動のため、それぞれの地域でボランティア活動を実施し、地域社会に喜ばれ信頼されるシルバーとなるように努めました。

※ボランティア活動参加者 113名

(6) 事務局体制の充実と強化

- ① 会員や発注者との信頼関係を構築するために、会員に優しく明るい職場環境に努めながら、発注者への対応は丁寧な説明に心がけるなど職員としての資質の向上に努めました。
- ② 業務会議を毎月開催し、業務の見直しや仕事の効率化、迅速化に向けた取り組みを進めました。
- ③ 見積専門員を配置し刈払いや剪定作業の新規受注分を中心に事前の見積を行い、発注者が安心して依頼できる環境の構築に努めました。
- ④ 年会費については、会員の利便性向上のために配分金からの控除を行うとともに、入会しやすい環境づくりのため年度終了前3ヶ月間の会費免除も行いました。
- ⑤ 甕大橋開通に伴う事務局体制のスムーズな移行準備を進めるとともに、事務局職員の各種研修の参加や能力強化に務めました。
- ⑥ 車輛や備品設備の見直し等を行うとともに、関連機器の効率的な配置により、事務処理の簡素・効率化に努めました。

令和2年度事業報告には、法人法施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成していません。